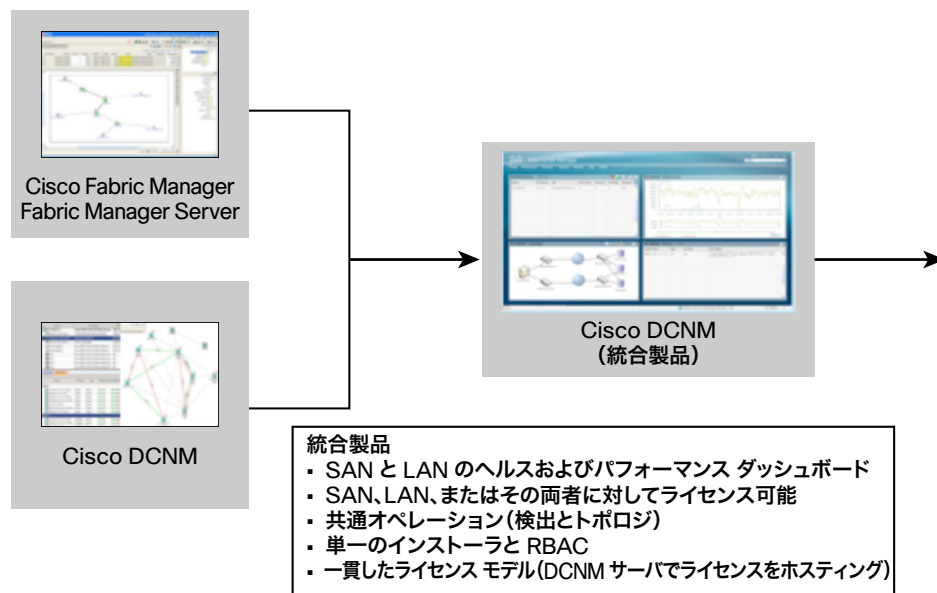


新しい Cisco Data Center Network Manager

最新のデータセンターは、ますます複雑かつ巨大になりつつあります。仮想化などの新しい技術の普及によって、構造がいっそう複雑化すると同時に、ネットワークへの負荷がますます高まっています。シスコユニファイドファブリックなどの新しい技術は、ストレージとデータ ネットワーキングを統合することで、システムの統合性、拡張性、インテリジェンスを向上させつつ、総所有コスト (TCO) の削減と迅速な投資回収 (ROI) を実現します。今日の IT 部門は、ネットワークやストレージという従来の枠組みを超えて、この統合された仮想データセンターを管理するという課題を抱えています。この課題を解決するには、管理プレーンを一体化し、データセンターインフラストラクチャの包括的な管理を可能にしなければなりません。

シスコは、このような管理の統合をサポートする必要性を認識し、Cisco Fabric Manager と Cisco Data Center Network Manager (DCNM) for LAN という 2 つの業界最高水準を誇る管理ソリューションを、Cisco DCNM という製品に統合しました (図 1)。

図 1. 新しい Cisco DCNM



Cisco DCNM には、SAN 環境と LAN 環境の組み合わせにも対応可能なライセンスがあります。管理者は、Role-Based Access Control (RBAC; ロールベース アクセス コントロール) による制御とセグメント化を維持したままで、さらに、ネットワークおよびストレージ アクセス インフラストラクチャ全体にわたる一元化された可視性を得ることができます。ライセンスの種類によって、SAN および LAN インフラストラクチャの管理に関する異なる機能をご利用いただけます。

Cisco DCNM の機能

新しく統合された Cisco DCNM は、データセンター インフラストラクチャ全体の可用性と信頼性を向上させます。Cisco DCNM は、仮想マシンを認識するファブリックの効率的な運用と管理のサポートに焦点を当て、現在および将来の仮想データセンターのルーティング、スイッチング、ストレージ管理に関するニーズに対応する、堅牢なフレームワークと包括的な機能セットを提供します。VMpath や、仮想マシンを認識するトポロジ ビューなどの機能によって、仮想コンピューティング、ネットワーク、ストレージ インフラストラクチャの相互の依存関係に関する優れた可視性を実現します。また、ユニファイド ファブリックのプロビジョニングを効率化し、LAN および SAN コンポーネントを予防的にモニタリングします。単一の管理ペインを通じて Cisco Nexus®、Cisco Unified Computing System™、および Cisco MDS 9000 ファミリ製品の高度な可視性と制御を実現できる Cisco DCNM は、基幹業務用のデータセンターの管理に最も適したソリューションです。

Cisco DCNM への移行

現在 Cisco DCNM 5.0 または Cisco Fabric Manager Server (FMS) 5.0 を利用している組織に対しては、新しく統合された Cisco DCNM 5.2 に移行することを推奨しています。新しい Cisco DCNM 5.2 は、これら 2 つの既存製品のいずれかをご利用のお客様が透過的にアップグレードできるように設計されています。シスコは、現在インストールされている製品から Cisco DCNM 5.2 へのインライン アップグレードをサポートします。

既存の Cisco FMS に対するサポート

Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチに Cisco FMS ライセンスを導入して Cisco Fabric Manager をご利用のお客様は、お使いのライセンスを変更することなく、Cisco DCNM 5.2 にアップグレードできます。現在インストールされているすべての Cisco FMS ライセンスは、Cisco DCNM 5.2 において自動的に継続およびサポートされます。シスコは今後、データセンター ネットワーキングの分野における新しいテクノロジーや製品を管理するための製品として、Cisco DCNM を更新していく予定です。Cisco Fabric Manager と FMS の販売およびサポートは今後も継続しますが、新しいリリースは行いません。つまり、今後シスコが提供するものはバグ修正や重要なパッチのみに限られ、新機能や新しいハードウェア サポートは提供いたしません。

発注オプション

Cisco DCNM では、さまざまなデータセンター展開に対応できるよう複数のライセンス オプションをご用意しています (図 2)。Cisco DCNM では、SAN (Cisco DCNM for SAN) および LAN (Cisco DCNM for LAN) 環境に対してそれぞれ別々にライセンスを取得できます。Cisco DCNM のライセンス モデルの (Cisco Fabric Manager と比較した場合) の重要な変更点は、ライセンスがスイッチではなく、管理サーバでホスティングされるという点です。現在インストールされているすべての Cisco FMS ライセンスは、Cisco DCNM 5.2 において自動的に継続およびサポートされます (<http://www.cisco.com/go/dcnm> の Q&A ドキュメントを参照してください)。

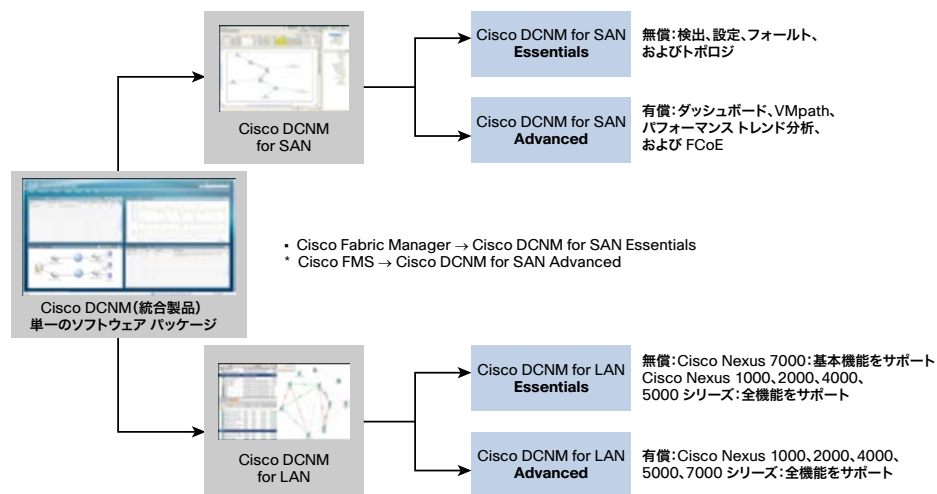
これに加えて、Essentials Edition と Advanced Edition という 2 種類の Cisco DCNM for SAN および DCNM for LAN ライセンスがあります。Cisco DCNM for SAN Essentials Edition は、すべての Cisco MDS 9000 ファミリ ハードウェアの購入の際に無償で含まれ、<http://www.cisco.com/go/dcnm> からダウンロードできます。Cisco DCNM for LAN Essentials Edition は、すべての Cisco Nexus ファミリ ハードウェアの購入の際に無償で含まれ、<http://www.cisco.com/jp/go/dcnm> からダウンロードできます。

Cisco DCNM for SAN Advanced Edition には、複数のデータセンターにわたるパフォーマンス モニタリング およびトレンドリング、仮想マシン認識型のパス分析、イベント転送、フェデレーションといった機能が追加されており、特定の製品番号によってライセンスが提供されています (<http://www.cisco.com/jp/go/dcnm> のデータシートを参照してください)。

Cisco DCNM for LAN Advanced Edition には、構成管理、イメージ管理、Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト)、Cisco FabricPath といった機能が追加されており、特定の製品番号によってライセンスが提供されています (<http://www.cisco.com/jp/go/dcnm> のデータシートを参照してください)。

図 2. Cisco DCNM のライセンス オプション

Cisco DCNM の利点



Cisco DCNM は、シスコ データセンター ネットワーキング (SAN および LAN) インフラストラクチャの管理に最適なソリューションです。仮想データセンターの運用および管理に Cisco DCNM を利用した場合の主な利点を次に示します。

- 仮想データセンターの運用管理の簡素化
 - 予防的なモニタリングおよび問題診断、問題のトラブルシューティングにかかる時間の短縮
 - SAN および LAN インフラストラクチャに対するパフォーマンスおよびキャパシティのモニタリングとトレンドリング
 - VMpath 分析とトラブルシューティング
- 革新的な Cisco NX-OS の機能の簡単な導入

- virtual PortChannel (vPC; 仮想ポートチャネル)、VDC、Cisco FabricPath、Fibre Channel over Ethernet (FCoE)、ゾーン分割、Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) などのテクノロジーに対する、容易に利用可能なプロビジョニング機能
- 新しい技術の効率的なロールアウトを実現するテンプレートベースの設定機能

関連情報

Cisco DCNM ソフトウェアの詳細については、ask-dcnm@cisco.com 宛てに電子メールで問い合わせるか、製品ホームページ www.cisco.com/jp/go/dcnm をご覧になるか、またはお近くのアカウント担当者までお問い合わせください。